

2021年2月15日

積水化成品工業株式会社(本社：大阪市北区西天満2-4-4 社長：柏原正人)は、持続可能社会に貢献し、環境負荷低減を可能にする「バイオセルラー」ブランドのラインナップ拡充を推進しています。

バイオセルラー® ラインナップを拡充

1. 背景

当社は、現中期経営計画 (Make Innovations Stage-II) において、「持続可能な社会への貢献」を経営の重点課題に据えています。SDGs (持続可能な開発目標) に象徴される世界規模での環境課題にアプローチするため、「バイオセルラー」ブランドのラインナップ拡充を進めています。「バイオセルラー」は、生分解性またはバイオマス由来のプラスチックを活用した環境貢献製品群の総称で、ランニングシューズのミッドソールとして採用された「エラストイル BIO」や自動車部材の「ST-Eleveat BIO」など、既に複数の製品を上市しています。



2. 「プラスチック資源循環戦略」へのコミット

経済産業省は、2019年5月に「プラスチック資源循環戦略」として「3R+Renewable (持続可能な資源)」を基本原則に据え、プラスチックを巡る資源・環境両面の課題解決と、その活用を通じた資源・廃棄物制約、海洋プラスチックごみ問題、気候変動問題など地球規模の社会課題への貢献を掲げました。その中でバイオマスプラスチックの活用に対し、「2030年までに約200万トン導入」とするマイルストーンを設定しています。「バイオセルラー」は本戦略に沿った当社のソリューションのひとつです。既存プロダクトブランドの全てにおいて、環境配慮製品の選択が可能になるよう迅速に「バイオセルラー」のラインナップ化を進め、その拡充を通じて循環型社会の実現に寄与していきます。

3. 今度の展開

「バイオセルラー」の拡充に向けた取り組みの一環として、海洋生分解性バイオプラスチック (MBBP: Marine-Biodegradable Biomass Plastics) の開発・普及に産学官連携で取り組む「MBBP 開発プラットフォーム」にも参画しています。

今後も、さまざまな企業・組織と共にモノづくりを進めることで、新たな価値創造を目指し、既存製品の進化や新素材の実用化につなげて、事業活動を通じた持続可能な社会の実現を目指していきます。